

新型コロナウイルス感染症対応 ガイドライン

(根室地区サッカー協会)

令和2年7月

1 感染予防対策の基本的要件

- ① 三つの密（密閉・密集・密接）の発生が原則想定されないこと。
- ② 大声での発声、声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと。
- ③ 適切な感染防止対策（入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスクの着用、室内の換気等）が講じられていること。

2 基本的な考え方

- ① 参加者の毎日の検温の徹底。
- ② 三密を避けるなど自己感染の回避。
- ③ ソーシャルディスタンスを踏まえた会場設定。
- ④ 手洗いの徹底。
- ⑤ 感染源の排除
 - イ 発熱や風邪など体調不良がある場合は参加しない、会場にも行かないこと。
 - ロ 試合前の健康チェックシートの提出で健康状態の確認。
 - ハ 会場に来てから咳や風邪の症状が見られる場合は、参加を見合わせする。
- ⑥ 感染経路の遮断については、手洗い、咳エチケット、ソーシャルディスタンス、マスクの着用の徹底。
- ⑦ 抵抗力を高めるためには、日常からの起床時の検温と適切な運動、バランスのとれた食事、十分な睡眠を心がける。

3 大会等の事前の対応

- 大会等においての地区協会担当及び参加チームからは、それぞれ感染対策担当者を設置し、大会関係者と協力して会場にいる方すべてに対して、安全への配慮（呼びかけ、注意、啓発）を行う。（地区協会担当者は種別委員長等が望ましい。）
- 開催要項の「その他」の（1）に以下のように記載する。(HKFA Q&A II Q6)
 - (1) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手、チーム役員、審判員、大会運営等関係者、引率保護者、観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断、指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
- 物品としては、アルコール消毒液や手洗い場に設置する液体石鹸、必要な各種表示物などを準備。体温計の準備（出来れば非接触型が望ましい。）。

※根室地区サッカー協会では、非接触型体温計、アルコール消毒液、液体石鹸を購入予定です。

4 健康チェックシートへの記載、提出

○新型コロナウイルス感染症は感染してから発症するまで、1～14日とのデータがあり、過去2週間の検温が必要としています。健康チェックシートは14日間の検温を行い提出となっています。選手はもちろんですが、大会役員、大会関係者、審判員も同様に検温し提出願います。

万が一感染者が出た場合に、保健所からの求めがあればチェックシートを提出することになりますので必ず提出してください。

○チェックシートへの記載事項

- ア、 チーム名、代表連絡先、氏名、年齢
- イ、 イベント当日までの体温（14日間及び当日）
- ウ、 大会前2週間における健康状態の確認

① 平熱を超える発熱 ② 咳、のどの痛みなどの風邪症状 ③ だるさ、息苦しさ ④ 臭覚や味覚の異常 ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等 ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 ⑨ その他、気になること

※生年月日、電話番号、メールアドレス、住所等については個人情報なので取扱いに注意すること。万が一感染者が出た場合は、チーム感染対策担当者が確認して報告することとする。

○チェックシートは大会の試合開始前に、チーム感染対策担当者に提出し、担当者は事前ミーティングで内容を確認する。チェックシートは4週間保管すること。（4週間過ぎたら破棄）

5 大会当日の対応

- 選手のみならず、指導者・保護者・関係者の中で、発熱・体調不良である者は、会場入りをしない。また、家族の中に同様な症状がいる場合も、選手共々会場入りを自粛してもらうようにする。
- 各チームで、会場にいたチーム関係者（選手・指導者・保護者等）を把握し、各チームは任意の形で記録を残しておく。（保護者等 ⇒ 父母・祖父母・兄弟姉妹・友人等）
- 自家用車での移動が伴う場合、複数の家族での同乗を行わないようにする。
- 同じ会場に入れるのは原則4チームとする。（選手、保護者合わせて）
- 会場に入る者は、すべての方がマスクを着用とする。
- 飲水用のボトルやタオルは、各個人持ちとし、使いまわさないようにする。
- ドリンクを冷やすための水や氷を入れたクーラーボックスなどは使用しない。
- ゴミの持ち帰りは、各自の責任で行う。
- 多人数で密になったの食事を避ける。
- 応援する保護者も十分な間隔（十分な間隔とは、2メートル。最低1メートル）を取って観てください。また、大きな声での声援は控えること。
- 会場のトイレや水道など複数の人間が触れる可能性のある場所については、大会日程終了後に用意した消毒液を利用して消毒を行う。
- トイレ使用後は、手の消毒または手洗いを必ず実行する。

6 試合前、試合中の対応

- 試合前、試合後には手洗いや消毒ができる体制を各チームでとっておく。
- 握手やハイタッチは行わない。円陣も行わない。
- ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。
- ゲーム前のセレモニーは、十分に感覚をあける。(あいさつの声や握手は行わず礼のみとする。)
- 控えの選手はマスク着用で、十分な間隔(2m、最低1m)を取って控える。十分な間隔が取れない場合はベンチ外も可とする。
- ゲーム中の選手の体調に十分留意し、変調が見られた場合は、速やかに帰宅させる。
- 子供の場合、雨天時や低温時は、選手の抵抗力が低下することが考えられるので中止も考慮する。
- 子供の場合、全選手がゲームに出られるよう配慮したり、特定の選手がフル出場で負担となったりしないように配慮する。
- つば・たん・うがいをした水等をグラウンドなどにはかないように指導する。
- ベンチ内でのビブスも個人割り当てが望ましい。ユニホームチェックも監督同士で話し合うことで時間短縮が図られるので今シーズンに限り導入可能とする。
- 当日審判がコロナ感染を疑わせる体調不良の場合、両チームの理解を得た上で、審判資格が満たされない方が、審判を行うことは可能とする。
- 試合後のチーム、審判員とのあいさつ、相手チームベンチのあいさつは行わない。

7 感染者が出た場合

- チームから感染者が出た場合は、保健所の指示に従うとともに、速やかに大会運営者へ連絡をとり、同会場にいたチームは該当日における名簿等を速やかに大会運営者に提出すること。
- 感染者が出た場合、感染対策が社会的にみて、不十分と判断されると責任を問われる場合がありますので、感染の状況や対策の方法など情報をしっかり集めて適切な対応をお願いします。

8 最後に

- このガイドラインは、根室地区サッカー協会の主催事業用となっており、(公財)北海道サッカー協会の「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」と「チェックリストに関するQ&A」から一部抜粋したものです。
- 全道大会やブロック大会などのガイドラインにつきましては、主催者の指示に従ってください。
- 講習会、研修会などのチェックリストの作成は、北海道サッカー協会のチェックリストを参考に各委員会で作成し理事長の確認を受けてください。
- (公財)北海道サッカー協会の「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」や「チェックリストに関するQ&A」は、逐次更新しておりますのでHKFA ホームページでご確認ください。
- 不明な点がありましたら理事長に問い合わせ願います。